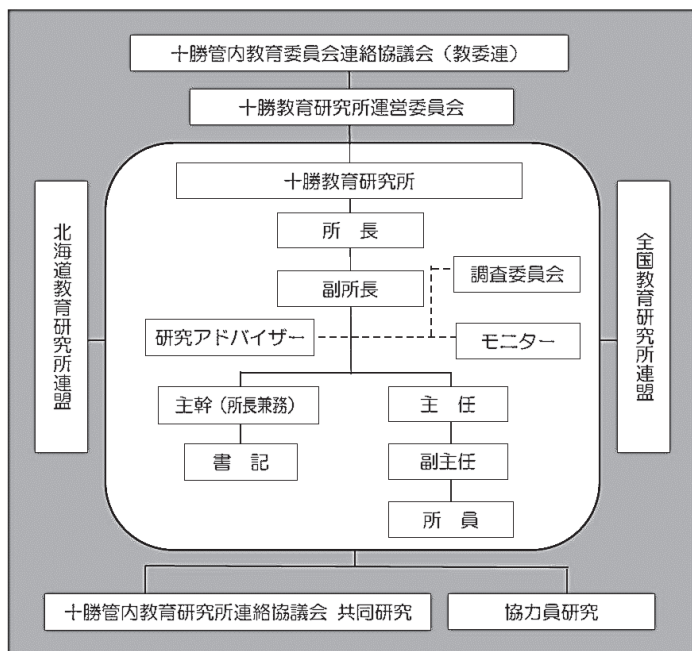


### ◇運営の基本方針・機構図

十勝教育研究所は十勝管内教育委員会連絡協議会によって設置されている公的な研究機関です。

各市町村教育委員会、十勝教育局並びに教育関係機関、十勝教育研修センターとの密接な連携を図り、その中心的な業務である調査・研究、研修活動、資料提供等を通して、十勝管内の教育の充実、発展に尽くすことを基本方針としております。



### ◇令和7年度 十勝教育研究所 職員



|            |          |          |          |
|------------|----------|----------|----------|
| 清水 悦子 書記   | 佐藤 悠樹 所員 | 中村 俊太 所員 | 千葉 直哉 所員 |
| 【協力員研究】    | 《共同研究》   | 《共同研究》   | 《協力員研究》  |
| 石丸 揚一朗 副所長 | 横山 利幸 所長 | 山本 由佳 主任 | 【協力員研究】  |
| 【協力員研究】    | 【協力員研究】  | 【協力員研究】  | 【協力員研究】  |

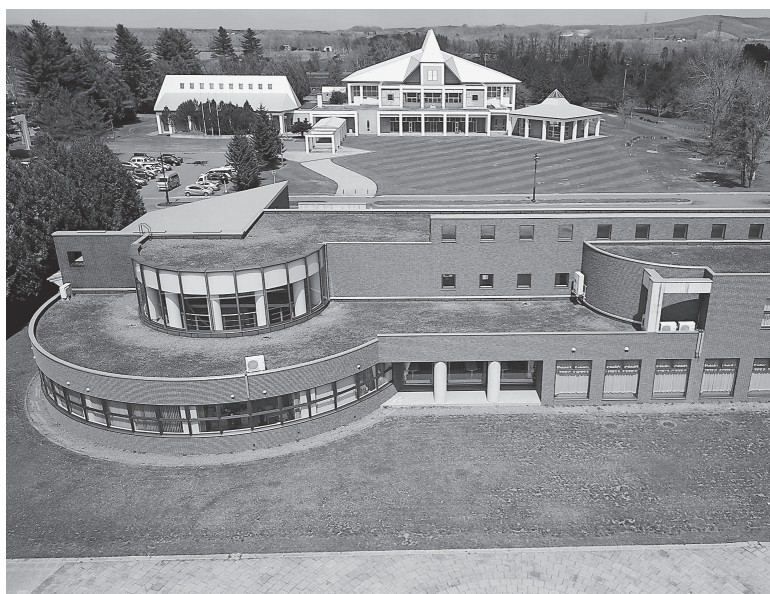
### ◇ご挨拶

お世話になりました (令和6年度 退任)

|         |       |              |
|---------|-------|--------------|
| 所 長     | 山田 洋  | (専任)         |
| 副 所 長   | 横山 一仁 | (幕別町立札内東中学校) |
| 主 任 所 員 | 柴田 悠二 | (音更町立緑南中学校)  |
| 副主任所員   | 白澤 大輔 | (音更町立木野東小学校) |

よろしくお願いいたします (令和7年度 着任)

|       |       |             |
|-------|-------|-------------|
| 所 長   | 横山 利幸 | (専任)        |
| 副 所 長 | 石丸揚一朗 | (幕別町立札内中学校) |
| 所 員   | 中村 俊太 | (音更町立鈴蘭小学校) |
| 所 員   | 千葉 直哉 | (音更町立共栄中学校) |



### ◇研究機関としての研究

十勝管内教育研究所連絡協議会共同研究（26ページ参照）

十勝教育研究所協力員研究（27ページ参照）

### ◇講演会・研修会の開催

令和7年度十勝管内教育研究所所員研修会

とかち教育講演会（25ページ参照）

十勝教育研究所研究発表大会

### ◇関係機関との連携

北海道教育研究所連盟第18次共同研究

全国教育研究所連盟、北海道教育研究所連盟、道東地区・十勝管内教育研究所連絡協議会との連携

### ◇教育研究相談

校内共同研究の進め方や個人研究の相談など

### ◇資料の提供

#### 「研究資料・学習指導資料コーナー」

管内小・中学校の研究紀要、各研究所の副読本やキャリア・パスポートなどが閲覧できます。また、教育関係雑誌のバックナンバーも配架しています。

#### 「閲覧コーナー」

【十勝教育研究所発刊物】

研究紀要

学習指導資料「十勝の子どもの学力」 広報誌「十勝教育研究」

【教育関係雑誌】

『初等教育資料』

『中等教育資料』

『指導と評価』

『道徳と特別活動』

『授業力＆学級経営力』

#### 「教科書コーナー」

図書室内には小・中・高等学校の各教科の教科書を全出版社分取りそろえておりますので、内容を比べることもできます。



## ◇ 広報誌「十勝教育研究」

広報誌「十勝教育研究」は、教育の今日的諸課題に関する研究や、実践などの発表・交流の場です。発刊は年3回を予定しています。また昨年度より11月号はデジタル版での提供となっています。デジタル版は、ホームページならではの豊富なカラー資料・画像・リンク等が充実しています。

より多くの皆様にご愛読いただけるよう、レイアウトを工夫しながら編集してきました。ご覧いただいた方が「読んでよかった」と感じられるよう、今年度も分かりやすく充実した内容となるように心掛け、丁寧な編集に努めてまいります。

### ー 学校めぐり ー

全ての号で掲載します。その学校の特色ある取組について、具体的な子どもの姿を交えながら、写真とともに掲載します。毎号裏表紙に掲載しますので、手に取った際に気軽に読むことができます。

### ー 特 集 ー

11月号と3月号に掲載します。話題となっているキーワード、現場で求められている指導方法などを分かりやすく解説します。また特集に関わる十勝管内の実践も紹介します。

### ー 紹介・挨拶 ー

6月号では、採用校長・昇任教頭・新採用教職員の皆様からのご挨拶を紹介いたします。3月号では、今年度で閉校となる学校を紹介いたします。

### ー 教育情報 ー

十勝教育研究所で進める「共同研究」「協力員研究」や、各種研究大会・発表大会、「数字で見る十勝の教育」など、当研究所の取組や、十勝管内の教育情報を中心に紹介します。

### ー わたしの学級経営 ー

全ての号で掲載します。「学級づくりで大切にしていること」「楽しい学級づくりのための教室環境づくり」「学級通信の書き方」など、学級経営を支える具体的な実践を紹介いたします。

### ー わたしの授業実践 ー

全ての号で掲載します。「教科指導のポイント」「新しく加わった内容の指導法」「ICTの活用」など、授業を行う上で大切にしたいことなどについて、具体的な実践を紹介いたします。

### ー 共に学び共に育つ ー

年2回の掲載です。特別支援教育の視点に立った実践や、教材教具について掲載します。特別支援学級担任の先生だけではなく、広い視点で実践を紹介していただきます。

### ー 健やかな心と体 ー

年2回の掲載です。子どもたちが学びに向かう土台は「心」と「体」の健康です。養護教諭・栄養教諭の皆様にと子どもたちへの関わり方や、学校全体での取組を紹介していただきます。

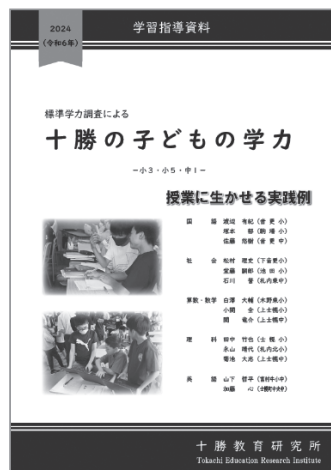
### ー 日々徒然 ー

全ての号で、お二方紹介いたします。日々子どもたちとの関わりやプライベートなどで感じた思いなどについて、様々な立場から徒然なるままに執筆していただきます。

## ◇ 学習指導資料「十勝の子どもの学力」

標準学力調査による十勝の子どもの学習状況や、各教科の指導の改善について掲載しています。今年度は小学校4学年・6学年、中学校2学年を調査の対象としました。また、小学校3学年～中学校2学年までの学力の概観も掲載しておりますので、あわせてご覧ください。

学習指導の改善・充実のための基礎的な資料としてご活用ください。実践事例は、ホームページでも公開しています。



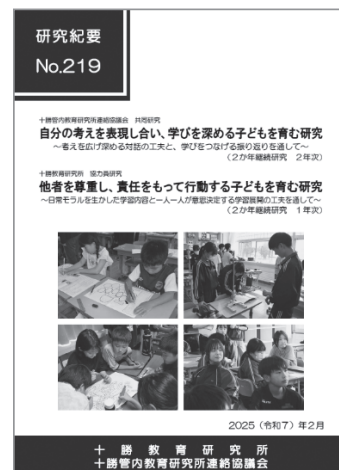
【R6 十勝の子どもの学力】

## ◇ 研究紀要

十勝教育研究所では、毎年、研究紀要を発行し、「共同研究」及び「協力員研究」の内容や、その成果と課題を管内の先生方にお知らせしてきました。

今年度より冊子での発行をやめ、ホームページで配信いたします。より視覚的で分かりやすく、充実した内容の情報発信に努めてまいります。

研究発表大会にご参加いただく場合も、当研究所HP掲載の資料をあらかじめご用意していただく予定です。



【R6 研究紀要】



# 新HPグランドオープン

新ホームページ グランドオープン！

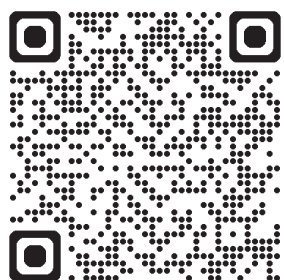


十勝教育研究所

十勝教育研究所について 研究 ご案内 刊行物 情報提供のページ 十勝の教育応援ページ 関連団体 よくある質問 お問い合わせ



新十勝教育研究所ホームページ <https://tokachi-edlab.jp>



研究内容や教育情報を、一人一人に届けたい

～「より見やすく・使いやすく・役に立つ」を目指して～

昨年度からリニューアルして試験運用してまいりましたホームページを、今年4月にグランドオープンいたしました。「共同研究」「協力員研究」に関わる資料のほか、広報誌「十勝教育研究（11月号）」のデジタル版、各種教育情報など、教職員の皆様に役立つ記事を随時更新していく予定です。ぜひ、研究や実践にご活用ください。

## とかち教育講演会案内

一般財団法人 北海道公立学校教職員互助会 講演事業

### 「少年犯罪の現状・ 子どもの犯罪防止について」

11  
/ 13  
(木)

15:00～16:45

(接続開始14:45)

■Zoomによるオンライン開催

■お申込みは後日ご案内

■参加無料



講師：元徳島県警捜査一課警部  
犯罪コメンテーター

リーゼント刑事

秋山 博康 氏

お問合せ：十勝管内調査研究事業実行委員会（十勝教育研究所内）

TEL: 0155-56-2331 E-mail: staff@tokyoken.net



### 〈研究主題〉

## 自ら学び続ける子どもを育む研究

～単元デザインの工夫と学びの自己調整を通して～

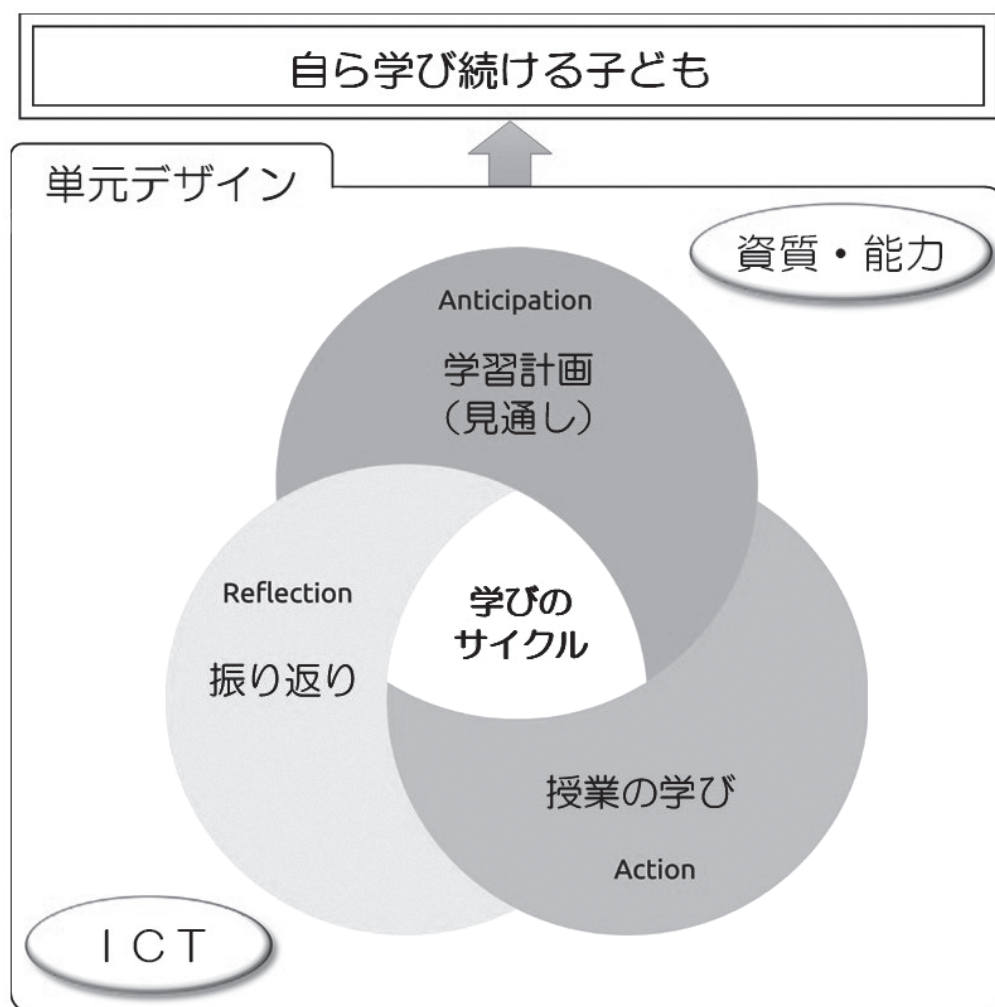
(2 か年継続研究 1 年次)

令和7年度の共同研究では、自ら学び続ける子どもを育む研究を行います。自ら学び続ける子どもを育むためには、まず、教師が子どもに身に付けさせたい資質・能力を踏まえながら、子どもが多様な価値観で学ぶことのできる単元デザインを構築することが必要だと考えます。また、子ども自身も学習計画を立て、自分にあった教材や学習方法、学習時間を判断しながら学習を進め、振り返りを通して学びを自己調整する力が必要だと考えます。

これらのことから、研究1年次は中学校における単元デザインの工夫や学びの自己調整に焦点を当てた授業づくりの研究を進めます。

### 研究の仮説

単元計画において、教師が身に付けさせたい資質・能力を踏まえながら多様な価値観で学ぶことのできる単元デザインを構築し、加えて、子ども自身が学習計画（見通し）を立て、学習方法など授業での学びを自己決定し、振り返りを通して学びを自己調整していくことで、自ら学び続ける子どもを育むことができるだろう。



# 協力員 研究



## Keyword

教科等横断的な視点に立った授業デザインの工夫  
意思決定につながる学習展開の工夫

〈研究主題〉

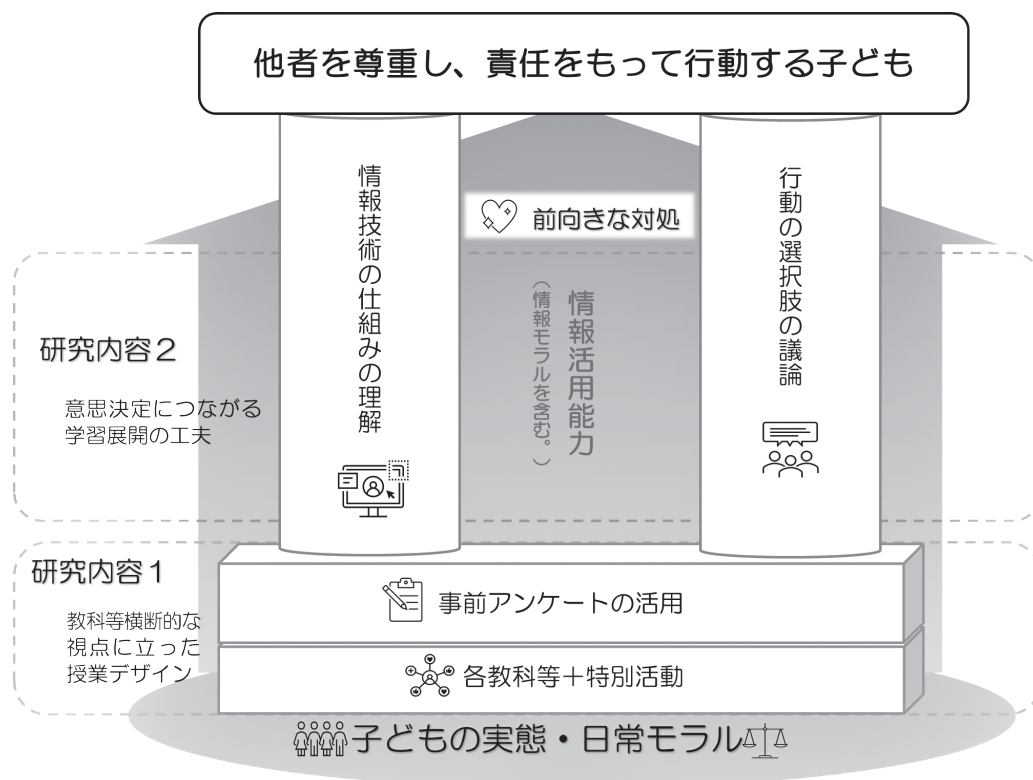
他者を尊重し、責任をもって行動する子どもを育む研究

～教科等横断的な視点に立った授業デザインと意思決定につながる学習展開の工夫を通して～  
(2 か年継続研究 2 年次)

学習指導要領において、「情報活用能力（情報モラルを含む。）」が学習の基盤となる資質・能力の 1 つに位置付けられています。また、十勝管内の教職員へ行った「デジタル機器や ICT の活用について」のアンケート結果から見ると、デジタル機器の活用で必要だと思う能力として、ルールやマナーを守る力といったモラルに関する項目のポイントも高く、課題があると考えられます。そこで、特別活動を中心として、教科等横断的な視点に立ち、題材に合わせて各教科等と関連付ける工夫や意思決定につながる学習展開の工夫の研究を進めることで、「他者を尊重し、責任をもって行動する子ども」を育む研究を進めます。

### 研究の仮説

特別活動を中心にした、事前アンケートを基にして、教科等横断的な視点に立ち、題材に合わせて各教科等と関連付ける授業デザインの工夫と情報技術の仕組みの理解をした上で行動の選択肢を議論することで意思決定につながるような学習展開の工夫を通して、他者を尊重し、責任をもって行動する子どもが育まれるであろう。



管内の小・中学校各1校の協力を得て、協力員を委嘱し、授業実践を通じた研究を進めます。



7/28・7/30  
(月)・(水)

## 十勝教育研修センター研修講座

会場：十勝教育研修センター

7/28(月) 講座番号 43：授業づくりⅠ  
(「対話」の工夫と「振り返り」の充実)

7/30(水) 講座番号 44：授業づくりⅡ  
(特別活動を中心にした情報モラルの授業づくり)

授業づくりⅠは当研究所の「共同研究」、授業づくりⅡは「協力員研究」の内容を生かした講座となっています。「対話と振り返り」、「情報モラルと意思決定」を取り入れる授業について学び、一緒に考えてみませんか。

たくさんの方々のご参加をお待ちしております。

## 北海道教育研究所連盟研究発表大会 (胆振大会)

会場：だて歴史の杜カルチャーセンター (伊達市)

8/28・8/29  
(木)・(金)

10/3  
(金)

## 道東地区教育研究所所員研修会

会場：標津町生涯学習センター「あすばる」(標津町)

## 十勝教育研究所研究発表大会

会場：十勝教育研修センター

Zoom によるオンライン開催

○共同研究：自ら学び続ける子どもを育む研究

～単元デザインの工夫と学びの自己調整を通して～

○協力員研究：他者を尊重し、責任をもって行動する子どもを育む研究

～教科等横断的な視点に立った授業デザインと意思決定につながる学習展開の工夫を通して～

2/3  
(火)

研修会・講習会の詳細につきましては、当研究所HPでお知らせします。

